

心潤う信州の河川環境整備 (事業区分:河川)

1. 地域(または長野県)の現状と課題

【現状】

長野県最大の湖沼である諏訪湖は、自然環境に恵まれた地域を抱え、観光資源及び市民の憩いの場として重要な役割を果たすとともに、諏訪地域の歴史・文化を育み、生活を支えているため、水質浄化及び環境整備に対するニーズが高い。

【課題】

諏訪湖の水質は徐々に改善しているが、全窒素等が環境基準を満たしていない。

また、Bゾーンの水辺は、波返し護岸が露出しており、生物の生息に適していない環境となっている。



2. 計画の目標

河川環境整備を実施し、本県の貴重な財産である良好な水環境と豊かで多様な自然環境を適切に保全し、将来に引き継ぎます。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成25年度～平成26年度(2年間)

【事業実施主体】 長野県

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H22(現況値)	H26(目標値)
第6期水質保全計画に基づき、水質改善を図る。(全窒素削減量)	—	-0.016mg/l
第6期水質保全計画に基づき、水質改善を図る。(全リン削減量)	—	-0.0013mg/l
諏訪湖水辺整備マスタープランに基づき、水辺整備を進捗する。(Bゾーン整備延長)	292m	452m

【事業の主な内容】

基幹事業 : 統合河川環境整備(水質浄化対策)、総合流域防災(水辺整備)
 関連事業 : —
 効果促進事業 : —

【箇所数と事業費】

	県	市町村	計
基幹事業	2箇所 1.9億円	—	—
関連社会資本整備事業	—	—	—
効果促進事業	—	—	—
計	2箇所 1.9億円	—	—

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

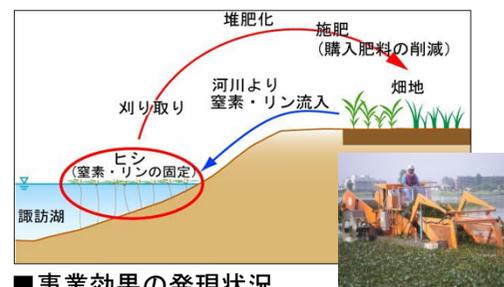
4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H26(目標値)	H26(実績値)
第6期水質保全計画に基づき、水質改善を図る。(全窒素削減量)	-0.016mg/l	-0.016mg/l
第6期水質保全計画に基づき、水質改善を図る。(全リン削減量)	-0.0013mg/l	-0.0013mg/l
諏訪湖水辺整備マスタープランに基づき、水辺整備を進捗する。(Bゾーン整備延長)	452m	456m

※ 全窒素及び全リンの削減量は、ヒシの成分含有量から集計した推定値

※Bゾーンのテーマは「水辺の生物豊かな湖畔」で、諏訪湖の原風景である水生植物が豊かな湖畔を保全・復元し、水辺の生物が豊かな自然環境を復元・創出するゾーン。



■ 事業効果の発現状況

- 水草(ヒシ)が吸収した湖内の栄養塩類(窒素及びリン)を、水草が枯れて沈み、湖内へ還元される前に刈り取り、湖外へ除去することで水質の浄化へ寄与した。
- また、水質がよくなったことで、水遊び、散策、環境学習、イベントなど水辺の活用が今後さらに期待される。
- Bゾーンの水辺整備を実施したことで、ヨシゴイやササゴイ、トビ、バン等の主に鳥類の個体や営巣が確認されており、生物の豊かな自然環境の復元に寄与した。

5. 評価と今後の方針

- 水質浄化、水辺整備ともに目標を達成することができたため、諏訪湖における良好な水環境と豊かで多様な自然環境の保全・創出に寄与した。
- 今後も引き続き水質浄化対策及び水辺整備を推進し、「泳ぎたくなる諏訪湖」、「シジミが採れる諏訪湖」をスローガンに、人が集い、良好な生態系を有する魅力的な諏訪湖を目指す。

整備効果事例

事例① 総合流域防災事業(河川環境整備事業) (一)諏訪湖 諏訪市 諏訪湖

■位置図



箇所名: 諏訪湖

実施箇所

■整備効果

「水辺の生物豊かな湖畔」をテーマに、自然再生工を実施したことで、主に鳥類の個体や営巣が確認され、生物の豊かな自然環境の復元が図られた。

整備前



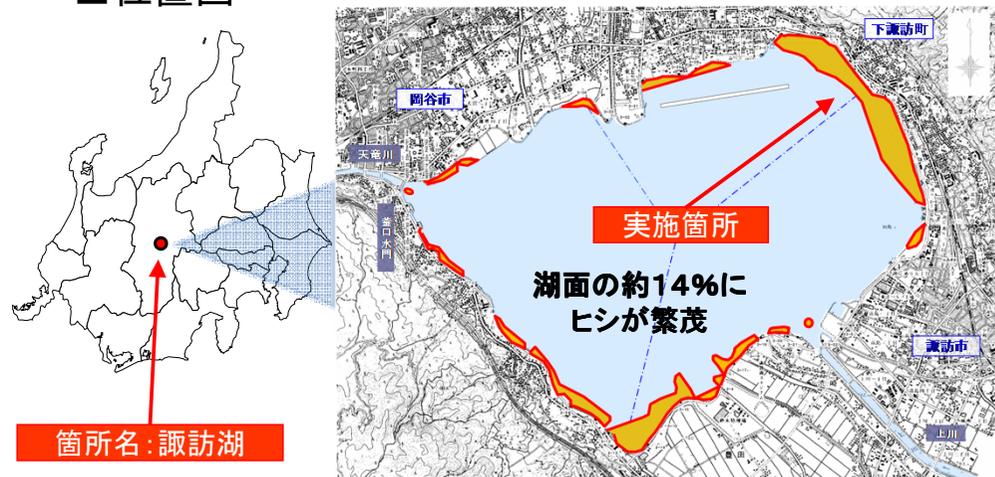
整備後



ササゴイが生息するようになった

事例② 統合河川環境整備事業 (一)諏訪湖 岡谷市・諏訪市・下諏訪町

■位置図



箇所名: 諏訪湖

■整備効果

湖内の栄養塩類(窒素およびリン)を吸収した水草(ヒシ)を除去することで、水質が向上し、今後更なる水辺の活用が期待される。

整備前



水草(ヒシ)

整備後



水辺の活用